

ことウラさんぽ プロジェクト

～観光客を「関係人口」に変える内省観光～



香川大学公認 琴平町地域活性化プロジェクト

「香大生の夢チャレンジプロジェクト」採択事業

国立大学法人香川大学大学院
地域マネジメント研究科



プロフィール

代表 臼杵 琴

📍 琴平町出身

💼 損保会社×社会人大学院生

👤 「ことウラさんぽ」発起人

💡 「内省観光」提唱者

「ことウラさんぽ」誕生秘話 (旅行 < 大学院)

“旅行狂”だった私が 大学院で変わった

入学した途端、価値観が変わった。

旅行 < 大学院

大学院の何が そんなに面白かったのか？

- ・同級生の **好き♥** に触れる面白さ
- ・みんなが主人公（脇役はいません）
- ・お互いの **好き♥** をリスペクト
- ・先生が先行研究と結びつけ深掘り

絶景やグルメは 「替えがきく」

でも今、私は
「**替えのきかない**」体験をしている

「それは、自分と向き合い、誰かの
「好き（偏愛）」に触れること。
感情をシェアする、生きた体験。

この感覚を、地元・琴平で提供できないか。

琴平は年間**234万人**が訪れるのに、平均滞在**3.09時間**。「**通過型観光**」という課題を抱えている。

大学院で感じた「替えのきかない体験」を、琴平の“裏側（B面）”を歩く旅として設計した。

歩いて、対話して、ノートに綴って、最後はみんなで「シェア」する
 琴平の「B面（裏のストーリー）」を通して、自分を再発見する内省型の周遊プログラム



2回（5月・9月）のモニターで見えてきたこと

【アンケート】

80%

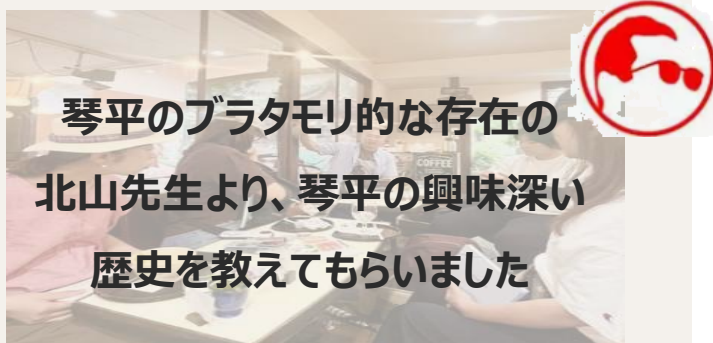
アナログ体験を高評価
アナログ＞デジタル

（プレモニターアンケート）

100%

また琴平に来たいと回答

（プレモニターアンケート）



【参与観察】9/6 第2回モニターツアー：初の「事後共有会」

やった
こと

地元住民・再訪者・多様な視点が集合。
表参道以外の裏道・橋・日常を周遊

わかった
こと

屋根付き橋の構造、レトロな看板…
見過ごされていた「B面」が多数可視化

変わった
こと

「通り過ぎる場所」から
「巡りたくなる場所」へ——意識が変わった

周った場所も、感じたことも、全員バラバラ。
それを持ち寄って話す時間が想像以上に盛り上がりました。



参加者から聞かれること

—— 実際のモニターで参加者から聞かれた質問です

Q. 「B面」だけを歩くべき？

A. 「A面」でもいいです。ご自身が感じたまま行先を決めてください。強制はしません。

選んだ道が正解。A面でもB面でも「なぜそこを選んだのか」を深掘りしてみてください。

Q. モデルコースは？

A. コースは作りません。皆さんの“偏愛♥”を大切にしてください。

「正解」を渡すと、ガイドブックをなぞる「A面」になってしまう。迷うことも旅の一部です。

Q. 共有会で優劣は？ 絵が上手な人が「優勝」でしょうか？

A. みんな違ってみんないい。全員が1位です。

絵や文字、おしゃべりなど、表現方法は自由です。それぞれの「好き」や「視点」を分かち合うことで、新しい自分に気づける、唯一無二の時間になります。

正解を渡さず、選ぶ余白を残す。——これが「ことウラさんぽ」らしさです。

今日、ご参加の皆様へのお願い

「ノート」で、観光客を「関係人口」に変える第一歩を踏み出しました。

共創パートナーを探しています

▶ 宿泊施設の皆様

「内省旅」を提案する連携プランを！

▶ 事業化の先輩方

対価に変える事業モデルのアドバイスを！

▶ 地域の皆様

新たな「ことウラ」ルートと一緒に！

最初の「共創者」として
ことウラさんぽ 公式Instagramの応援を！



SCAN ME!

@ura_kotohira_trip

皆様の「フォロー」が、新しい物語を広げる“力”になります。